

2008年10月17日
在デトロイト総領事館

ハロウィーンにおける注意事項

1. 子供達はハロウィーンを心待ちにしていると思いますが、バトンルージュにおける服部君射殺事件に代表されるように、危険と隣合わせの部分があります。お子様達が安全に楽しむために事前に注意事項をよく言い聞かせてください。以下の注意事項はファーミントンヒルズ市警察が小学生向けに配信した注意事項の要約です。

『ハロウィーンは大切な伝統ですが、その夜は夢中になってしまい注意を忘れてしまいます。本当の危険は魔女や幽霊ではなくて、転倒や交通事故です。全国安全評議会からの注意事項を紹介します。

ブカブカのコスチュームは長すぎないようにして、反射テープで強調した明るい色の素材を選び、下に暖かい服を着ましょう。懐中電灯を持った大人と行きましょう。

マスクの代わりにお化粧しましょう。もしマスクを被るときは、鼻、口と目が大きく開いたものにしましょう。ナイフ、刀、その他のアクセサリは段ボール紙か柔らかい素材の物にするか、家に置いていきましょう。とがった物は持って行ってはいけません。

お菓子入れは明るい色で、反射テープを貼ったものの方がいいでしょう。

大人よりも前を走ってはいけません。おいしそうなお菓子をもらっても、家でお父さんやお母さんが確認する前に食べてはいけません。出かける前に早めの食事をしましょう。沢山の家をまわるには沢山のエネルギーが必要です。沢山の家をまわれば沢山ののお菓子がもらえます。

大人と一緒になければ、たとえ知っている人でも家やアパートに入ってはいけません。家から家に行くときは走らないで歩きましょう。庭や芝生を通ってはいけません。見えない物があったり、地面がでこぼこだったりして危険です。歩道がないときには、道路の左側を歩いて、対向車を正面から見えるように歩きましょう。

忘れないで:変な物があったら捨てましょう。』

2. 「サブディビジョンから出てはいけない」「玄関灯が点灯している家だけに行く」等々皆さんがお住まいの地区ごとの決まり事があると思いますので、事前に注意事項を良くご近所の方から確認してください。

3. 今回は Farmington Hills Police Department の”CRIME PREVENTION KIDS CLUB”から配信のあったメールを紹介させていただきましたが、皆さんがお住まいの地元警察にも同じようなサービスがあれば入会してみてもいいですか。